



輝け西津っ子

令和4年度 西津小学校
学校だより 第5号
令和4年7月12日



遠泳大会について

今年の遠泳大会が無事終わりました。

ご協力や応援をいただいた保護者の皆様、地域の方々、水泳協会や県大ライフセービング部の皆さんに、心から感謝申し上げます。そして何より、最後まで泳ぎ切ることができた5・6年生のみなさんに心から「よくやりきったね」と頑張りを讃えたいと思います。

さて、コロナ過の中で、昨年度に続いてこの遠泳大会を実施したわけですが、この遠泳大会の目的は、以下の3つです

- ①仲間と共に長い距離を泳ぎ切り、協力してやり遂げる達成感を味わわせる。
- ②海での命の守り方を学ばせる。
- ③水泳学習の一環として、心身の鍛練と泳力の充実を図る。

特に①②については、プールでの水泳学習だけでは達成できないものです。そして「ふるさと西津にある山や海といった自然を活かした学習をとおして、ふるさとへの愛着深めてほしい」という願いも込められています。

川西海岸は、過去は遊泳場になっていました。現在は監視員を常駐できないという理由で遊泳場にはなっていませんが、水質検査も行い泳ぐのに差し支えないという許可を得ています。海岸は地元の方が重機で整備してくださったおかげで、海練習の初日、5・6年生で海岸そうじをしましたが、流木を取り除くぐらいで人工物はほとんどありませんでした。

海で5年生300m、6年生600mを完泳する。このことは子どもたちにとっては並大抵のことではありません。ですから、海での練習までに泳力を高めておく必要がありました。今年は7月1日の海練習までに、温水プールでの練習を6時間、体育の時間に学校プールでの練習を5コマ、そして自信の無い子どもたちのための放課後練習を3時間持ちました。その結果、6年生は全員プール遠泳で300m以上足をつかずに泳ぐことができるようになりました。5年生も数名を除いて100m以上を泳ぐことができるようになりました。ただ泳ぐだけではなく、前の人やバディとの間隔を考えながらスピードを調節しながら泳ぐことを意識させました。何より大事なことで、け伸びをしっかりとゆったりと泳ぐことが長距離を泳ぎ切るコツであることを繰り返し伝えてきました。

さて、泳力についても海で泳ぐことは簡単ではありません。足のつかないところで泳ぐ恐怖を乗り越える必要がありました。ですから、海練習初日は「海に慣れる」ことを目的に、沖に向かっての往復練習から入りました。ここで足がつかないことや波があることで息継ぎが難しくなるなどの恐怖心から、自分の泳ぎができなくなる子どもたちが出てきます。そうした子どもたちに自分の泳ぎを思い出させ、ゆったりと泳がせることができたあと、岸に沿って隊列を組んで泳ぐ練習をしました。はじめは怖がっていた子どもたちも、バディとともにゆったりと泳ぐことができるようになり、自信を付けて初日の海練習を終えることができました。

7月5日の2回目の海練習の日は、あいにく前日までの曇天から、水温は低く感じられました。時折日は差しましたが曇りの中での練習となりました。そんな中、沖までの往復練習を行ったあと、岸に沿って前回より距離を伸ばして泳ぐ練習をしました。特に6年生は往復して300mほど泳ぎました。この





練習で海の状況が変わっても落ち着いて自分の泳ぎをすれば大丈夫なことを再度確認しました。あと1回海練習を予定していましたが、他校との兼ね合いで伴泳者の数が確保できないことと、子どもたちの泳ぎにめどがなかったことで取りやめました。

予定していた9日、当初は遠泳を実施する予定だったのですが、午後から雷の予報が出たため、急遽10日に順延することになりました。ちょうど14:30ぐらいからバケツをひっくり返したような豪雨が降ってきたことから、順延してよかったと心から思いました。

10日(日)は、天候も回復するというので、朝のうちに遠泳大会実施を決断しました。

開会式にはぽつぽつ雨が降りかかりましたが、代表の選手宣誓の頃には、雨も上がり、波も穏やかになって絶好の遠泳日和となりました。

5年生も6年生も気合いを入れてスタートしていきました。どちらも隊列を組んで練習どおりに泳ぐことができていたように思います。5年生が泳いでいるときは6年生が「エ〜ンヤコ〜ラ」と音頭をとり、6年生が泳いでいるときは泳ぎ終わった5年生も最後まで「エ〜ンヤコ〜ラ」と声を出し続けていました。そして、5年生が300mを30分で、6年生が600mを40分かけて全員見事に完泳することができました。

この遠泳は、子どもたちの泳力はもちろん、自分で目標を決めそれに向かって自分を高める力(向上心)、やり遂げた喜びと達成感を感じるために困難に挑戦する力(自信)、うまくいなくても気持ちを切り替えあきらめずに最後までやりきる力(根気)。さらには相手のことを考えながら伝え合う力(意思疎通)自分と友達との違いを受け入れ友達のよいところや成長・頑張りを認め合う力(他者承認)、学級のみならず仲間意識を持ってつながりお互いに支え合う力(協働)。これらの力を十分伸ばすことができる行事であったと思います。

両学級がそれぞれの思いを幟に託して、保護者や地域、その他の皆さんのたくさんの応援や支援を受けて成功させた遠泳大会。この思いを一生の宝物にしてもらえることを心から願います。

5年生



6年生



□学校へのご意見・ご要望、児童に関する情報・相談については、遠慮なく学校までご連絡ください。
(学校:52-0254) 学校HP <http://edu.city.obama.fukui.jp/nishizu>